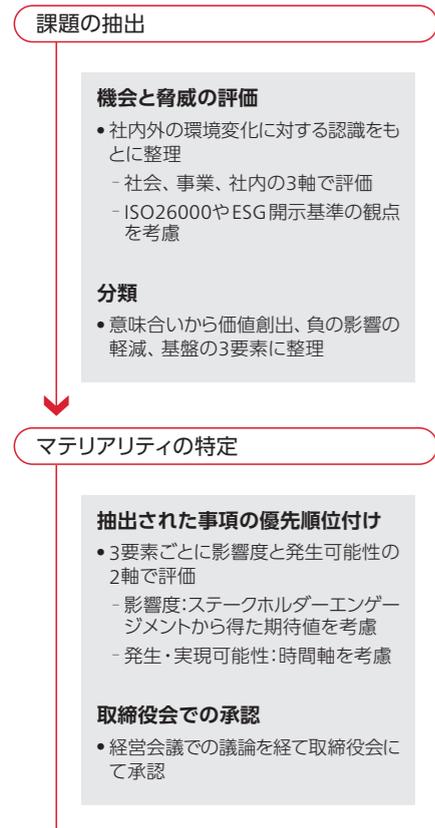


SHIONOGIの重要課題

マテリアリティ

マテリアリティ特定プロセス



マテリアリティ	主な取り組み	主な関連指標・評価軸	特に貢献するSDGs	
顧客・社会に新たな価値を創出するために取り組む重要課題	感染症の脅威からの解放	急性感染症に対する製品・サービスの提供	●急性感染症関連パイプライン数 ●重症感染症関連パイプライン数 ●重症感染症におけるPull型インセンティブの採用国数	
	健やかで豊かな人生への貢献	治療に長期間を要する感染症に対する製品・サービスの提供	●HIV関連製品パイプライン数 ●カボテグラビルによるQOL改善への貢献 ●抗マラリア薬等の開発	
		ワクチンビジネスの構築	●COVID-19ワクチンの提供 ●次世代ワクチンの開発	
	責任ある製品・サービスの提供	アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する製品・サービスの創出	●精神・神経疾患治療のパイプライン数 ●疼痛治療パイプライン数 ●がん領域パイプライン数 ●その他社会的影響度の高いQOL疾患に対する製品・サービス数	
顧客・社会への負の影響を軽減するために取り組む重要課題	持続可能な社会保障への貢献	疾患特性、当事者の抱える困りごとに対する社会理解促進に資する疾患啓発活動の実施	●Webセミナーなどを活用した啓発活動の実施数 ●発達障がい領域における支援サービスの提供数	
	医療アクセスの向上	医薬品とは異なるソリューションの提供	●ソリューションの数、パートナーリング数	
	医療アクセスの向上	セルフメディケーションの推進	●OTC医薬品の品目数・売上実績	
SHIONOGIの成長を支える社会的実現と持続可能な社会の実現と	環境への配慮	入手しやすい環境の整備	●エンシトレルビルの提供国数 ●GARDP、CHAIとの提携を通じたセフィデロコルの提供可能国数 ●WHO必須医薬品リストへの掲載 ●ヴィーブ社によるドルテグラビル、カボテグラビルの提供国数	
	成長を支える人材の確保	ヘルスケアシステムの強化	●妊産婦・授乳婦および5歳未満児の健康の改善 ●自立的な保健サービスの運営	
		責任ある製品・サービスの提供	製品サービスの安定供給	●需給バランスの変化を捉え、欠品を起こさないための調達・生産・流通の管理 ●安定調達の実現に向けたサプライヤーとの定期／非定期協議の実施 ●製造委託先との関係性強化および事業継続計画(BCP)体制維持に向けた支援
	環境への配慮	法令遵守およびモニタリングの強化	●医薬品の製造販売に係る法規制・ガイドラインの遵守徹底	
SHIONOGIの成長を支える社会的実現と持続可能な社会の実現と	環境への配慮	人権の尊重	●現代奴隷法に基づく声明文の表明 ●人権インパクトアセスメントの実施	
	成長を支える人材の確保	環境への配慮	気候変動・温室効果ガス(GHG)の排出量削減	●TCFDに基づく情報開示 ●2030年度:スコープ1+2を46.2%、スコープ3のカテゴリー1を20%削減(2019年度基準)、2050年度:排出ゼロの達成
		環境への配慮	AMR・抗菌薬の製造過程における環境への影響の軽減	●2030年度:サプライチェーンを含めた適正管理(監査のフォローアップ完了)
	成長を支える人材の確保	競争力のある多様な人材の確保	●必要なスキル要件の明確化 ●競争力のある報酬制度 ●社内公募活用人数 ●キャリア採用者数	
SHIONOGIの成長を支える社会的実現と持続可能な社会の実現と	成長を支える人材の確保	尖った強みを持つ人材の育成	●人材育成状況のモニタリング強化 ●教育研修費 ●自己投資支援制度利用者率 ●副業制度の申請者数	
	成長を支える人材の確保	誰もが働きやすい環境・風土の醸成	●継続的な働き方改革の実施と従業員コミュニケーションの活性化 ●経営理念の浸透度 ●女性マネジャー比率 ●育児休業取得率	
	成長を支える人材の確保	健康経営の推進(健康管理・労働安全衛生)	●健康診断受診率 ●ストレスチェック 高ストレス者割合 ●喫煙率 ●度数率 ●強度率	
SHIONOGIの成長を支える社会的実現と持続可能な社会の実現と	サプライチェーンマネジメントの強化	重要サプライヤーの特定およびサプライヤーのサステナビリティ評価	●2022年度質問票またはEcoVadisによるアセスメント ●EcoVadis評価企業数 ●設定した基準を満たすサプライヤーの割合	
	サプライチェーンマネジメントの強化	サステナビリティ課題に関する面談、説明会	●調達に関する行動規範に同意するサプライヤーの割合 ●面談、説明会による働きかけを実施した会社数	
SHIONOGIの成長を支える社会的実現と持続可能な社会の実現と	コンプライアンスの遵守	国内コンプライアンス体制の強化	●管掌コンプライアンス委員会の設置 ●国内外のコンプライアンス推進組織との連携強化	
	ガバナンスの強化	実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制	●第三者評価機関による実効性評価 ●スキル・マトリックスの見直し	
ガバナンスの強化	リスクマネジメントの強化	●全社リスクを事業戦略上のリスクと事業遂行上のリスクに分類		

